

《事故情報》

化学工場から塩素系ガス漏洩事故

(一社)大阪府高圧ガス安全協会
事務局

令和7年7月27日午後6時頃、福岡県大牟田市の化学工場から「有毒ガスが漏れ出した」と消防に通報がありました。

工場周辺にいた男女42人が吐き気などを訴え、病院に搬送されました。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

(1) 発生日時：令和7年7月27日（日）

①午後5時40分頃 ガス漏洩検知器が鳴った（消防に通報）

工場稼働停止、防護マスク装着し事故対応実施

②午後7時50分頃 ガス漏洩停止

(2) 発生場所：福岡県大牟田市 化学工場の構内

(3) 作業状況：通常運転時なのか点検などの作業時なのかは報道情報では不明

(4) 物的被害：物損は不明

(5) 人的被害：工場周辺にいた男女42人が病院に搬送された。重傷者はいない。

市内で行われていたお祭りが中止となった。

(6) 推定事故原因：配管の老朽化、配管締結部の緩みなど。

日常点検などの定期点検による漏洩確認の確実な実施が必要。

事故対応において適切な資材や装備が不可欠です。今回の事故ではガス漏洩検知器や防護マスクが有効に使用されています。

使用しているガスの性質にあったガス漏洩検知器の校正や装備品チェック、空気呼吸器の残ガスチェックなどを確実に行っていくことが重要です。

2. 報道記事（TBS ニュース、産経新聞を参考に添付します）

(1) インターネット情報

「福岡 有毒ガス漏れ」で検索すると、その他記事も出てきます。

以 上

化学工場から塩素系の有毒ガスが漏れ出し、42人が吐き気など訴え病院搬送 ガスが滞留している可能性もあるとして注意呼びかけ 福岡・大牟田市

7/28(月) 1:05 配信 80



TBS NEWS DIG

化学工場から塩素系の有毒ガスが漏れ出し、42人が吐き気など訴え病院搬送 ガスが滞留している可能性もある...



0:23 / 0:48

TBS NEWS DIG Powered by JNN

きのう夕方、**福岡県大牟田市**の化学工場から塩素系の有毒ガスが漏れ出し、男女42人が吐き気などを訴え病院に運ばれました。

記者

「ガス漏れがあった工場では現在も救急車両が止まっています」

きのう午後6時ごろ、福岡県大牟田市の**三井化学大牟田工場**の周辺で「**硫黄**のような臭いがする」と通行人から警察に通報がありました。

工場によりますと、ガスが漏れ出したのはウレタンの原料を作るプラントで、周辺住民など42人が体調不良を訴え病院に運ばれましたが、重症者はいないということです。

およそ2時間後にガス漏れは止まったものの、ガスが滞留している可能性もあるとして市が注意を呼びかけています。

これを受けて、市内で行われていた「おおむた**大蛇山**まつり」が中止となりました。

TBSテレビ

三井化学工場の塩素系ガス漏れ、業務上過失傷害疑い視野に捜査 搬送者は吐き気など訴え

2025/7/27 23:31

福岡県大牟田市の三井化学大牟田工場から塩素系のガスが漏れ、20人以上が搬送された事故で、福岡県警は27日、業務上過失傷害の疑いを視野に捜査する方針を明らかにした。搬送された人は、座り込んで吐き気をもよおすなどの症状を訴えていたという。

同工場によると、午後5時40分ごろ、敷地内のウレタン原料を生産するプラントで、ガスの検知器が鳴った。すぐに工場の稼働を停止し、午後7時50分ごろ、ガス漏れが止まったとしている。敷地内にいた人は防護マスクを装着。気分不良を訴えたのは、社宅にいた社員や周辺の住民らだとしている。

市によると、消防から連絡を受け、午後7時25分に祭りの主催者が中止を決めたという。

三井化学によると、大牟田工場では眼鏡のプラスチックレンズの材料や自動車のシートクッションに使うウレタンなどを生産。敷地は252万平方メートルあり、令和5年2月時点で関係会社を含め約700人が勤務している。同社の創業地として知られ、明治45（1912）年に稼働した。

> 「工場プラントから塩素系ガス漏れた」と三井化学 福岡・大牟田

▼

 THE
SANKEI
SHIMBUN